当資料は、2026 年 11 月 16 日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳版です。
米国リリース原文：https://www.dell.com/en-us/newsroom/announcements/dell-technologies-delivers-the-trusted-data-and-ai-infrastructure-foundation-needed-to-scale-enterprise-ai

2026 年 11 月 17 日
デル・テクノロジーズ株式会社

デル・テクノロジーズ、エージェンティック エンタープライズ AI を大規模展開するために必要な信頼できるデータおよび AI インフラ基盤を提供

420 以上の製品と 6,500 社以上の顧客基盤を土台に、「Dell AI Factory with NVIDIA」のアップデートがフルスタック全体に広がり、企業が自信を持って本番運用へ移行する道筋を提供

- **大規模 AI 向けのデータ準備**：「Dell AI Data Platform」の新機能とエコシステム統合により、企業データを AI エージェントがアクセス・活用できる、信頼性が高くガバナンスの効いたコンテキストに変換。さらに、お客様自身が所有・管理するインフラ上で実現。
- **エージェンティック AI 向けのインテリジェントな管理**：コンピュートとネットワーキング向けの新たなソフトウェア管理ツールにより、エージェント型ワークロードを加速し、運用を簡素化。インフラ導入から本番運用への迅速な移行を支援。
- **あらゆるユースケースに対応する、検証済みのエンド ツー エンドのソリューション**：検証済み AI ソリューションのエコシステム拡充、新たに検証されたモジュラー型インフラ、そして新たな「Dell サービス」により、概念実証から本番運用への移行リスクを低減。

2026 年 11 月 16 日、シカゴ『SUPERCOMPUTING 2026』発：
デル・テクノロジーズは、「Dell AI Factory with NVIDIA」のアップデートを発表しました。これにより、企業は大規模なデータ準備、インフラの確実な管理、導入初日から連携して機能する検証済みソリューションの導入が可能になります。

重要性:
AI は、組織の競争、運営、イノベーションのあり方を変えつつあります。しかし、AI の可能性を測定可能な成果に変えるには、モデルや計算資源だけでは不十分です。必要なのは、信頼できるデータ、拡張性を前提に設計されたインフラ、検証済みソリューションです。さらに、それらを統合しながら、アクセス、リスク、コストの管理を維持するための専門知識も求められます。

「Dell AI Factory with NVIDIA」の立ち上げ以来、デル・テクノロジーズはデータ、コンピュート、ネットワーキング、ソリューション、サービスにわたり、420 件(*1)を超える提供を行ってきました。すでに 6,500 社以上(*2)のお客様がこの基盤を活用しており、今回の発表は NVIDIA GTC Berlin での勢いをさらに加速させるものです。そして、信頼できる一社のパートナーによるエンド ツー エンドのアプローチこそが、エージェンティック AI を実験段階から本番運用へと自信を持って移行するための方法であることを示しています。

AI 向けデータの準備、コンテキスト化、拡張:

AI エージェントの有用性は、エージェントがアクセスでき、信頼できるデータの質に左右されます。デル・テクノロジーズは「Dell AI Data Platform」を進化させ、新たなデータ オーケストレーション機能とストレージ エンジン機能を追加しました。これにより、お客様はデータの保存場所を問わずデータを準備し、エージェントが信頼できるコンテキストに変換したうえで、AI の規模に対応するよう設計されたストレージ上で運用できるようになります。

- **データ オーケストレーション**の進化により、分散した企業データを、お客様自身のインフラ上で AI エージェントが利用できる、信頼性が高くガバナンスの効いたコンテキストに変換：
  - 「**Agentic Data Gateway**」は、すべてのエージェントに対して、企業データとコンテキストにアクセスするための、統制された単一の経路を提供します。これにより、チームは接続ごとに構築し直す必要がなくなり、一度構築するだけで済みます。社内テストでは、コンテキストの再利用によりトークン消費量を最大 76%削減し、回答精度を 60%から 94%へ向上させました(*3)。
  - **ハイブリッド データパイプライン オーケストレーション**は、オンプレミスのプライベートクラウド、「Dell AI Factory with NVIDIA」、デル・テクノロジーズ以外のインフラ、パブリッククラウドにまたがり、データが存在する場所でパイプラインを実行します。これにより、組織は膨大な非構造化データセットを移動させる必要がなくなります。
  - 「**Storage Intelligence**」および「**Data Intelligence**」は、異種混在かつ数十億ファイル規模の環境全体にわたり、データの来歴、品質、利用状況を可視化します。これにより、チームは AI の背後にあるデータを信頼し、ストレージ ライフサイクルを管理できます。
  - **オープンで統合されたデータアクセス**により、表データ、画像、動画、文書を単一のパイプラインで準備し、ベクトルをお客様がすでに使用しているデータベースに振り分けます。移行は不要で、インデックス作成は最大 12 倍高速化(*4)されます。
  - **LangChain、OpenAI Codex、Unstructured.io との統合**により、開発者は使い慣れたフレームワーク、コーディングエージェント、文書処理ツールを、再基盤化することなく、またデータを自社インフラ外へ出すことなく Data Orchestration に取り込めます。

❖ デル・テクノロジーズは *Exascale* ポートフォリオを拡充し、ラックスケール *AI* 向けとして**業界初の直接液冷（DLC: Direct Liquid Cooling）対応ストレージ**(*5)、高密度な *1U* フォームファクター、さらに *NVIDIA* 認証を提供することで、クラウドサービス プロバイダーに実証済みの *AI* ストレージ基盤と、より多くの導入選択肢を提供します。

- **液冷ストレージ上の「Dell Exascale」**は、ファイル、ブロック、オブジェクト、並列ファイルストレージに対応する Exascale のソフトウェア定義型の柔軟性を、オープンラックの AI インフラ標準にもたらします。2-OU、100%直接液冷（DLC）のプラットフォームは最大 32 基の NVMe ドライブをサポートし、AI 環境の拡張に伴うラック設計、導入、拡張を簡素化します。
- **1U プラットフォーム上の「Dell Exascale」**は、ラックスペースに制約のある AI 環境向けに、Exascale お客様へさらなる柔軟性と選択肢を提供します。ラック設置面積、電力、冷却負荷を削減しながら、ラックユニットあたり 67%高いドライブ密度(*6)を実現します。
- さらに、「Dell Exascale」上のソフトウェア定義型「Dell PowerScale」が、**Foundation レベルで NVIDIA 認定ストレージの認証を取得**したことも発表しました。これにより、大規模 GPU 環境における AI 高速データアクセス向けの検証済みプラットフォームが組織に提供されます。

インテリジェントで高性能なインフラ管理ソフトウェア：

AI がますます中核的な存在になるなか、本番運用への迅速な移行、運用の簡素化、そして大規模運用への信頼性向上には、シームレスなインフラ導入が鍵となります。

- **「Dell OpenManage Rack Scale」** は、「Dell OpenManage」の次世代版であり、新たなエージェント型インフラ管理プラットフォームです。単一のサーバーからラック全体までの物理インフラを、展開、管理、監視、自動化し、最大 100,000 台のデバイス規模に対応します。これは前世代比で最大 12 倍です(*7)。ラックのコンテキストを含む単一のビューにより、ツールの乱立を抑え、システムヘルス、アラート、ファームウェア、インベントリ、電力、性能にまたがる問題を自然言語で調査・解決できます。これにより、導入の迅速化と大規模変更の予測可能性向上につながります。
- **「Dell Fabric Manager」** は、データセンター、AI、HPC、エッジ環境にまたがる、複数 NOS・複数シリコン対応ネットワーク ファブリック向けの、新たな集中型インテントベース自動化、ライフサイクル管理、可観測性プラットフォームです。デジタル ツインをベースとした設計やゼロタッチ プロビジョニングから、アップグレードや構成ドリフト監査に至るまで、Day 0 から Day N までの運用を自動化し、Day 2 運用工数を最大 80%削減し(*8)、デバイスインベントリの 100%(*9)正確な把握と、より強力なコンプライアンス保証を実現します。

- 「**Enterprise SONiC Distribution by Dell Technologies**」は、「Dell PowerSwitch Z9964F-ON」や NVIDIA Spectrum SN4700 スイッチを含む新たなプラットフォームへの対応を追加します。これにより、組織はシリコン選択肢を広げ、ベンダー ロックインを低減し、異種混在の AI およびデータセンター ファブリック全体での標準化をよりシンプルに進められるようになります。また、ファブリック拡張に伴って、より強力なルーティング機能とレジリエンス機能も提供します。

エンタープライズ AI 成果のための、検証済みフルスタック:

エージェンティック AI をビジネス成果へと転換するには、インフラ部品だけでは不十分です。デル・テクノロジーズの検証済み AI ソリューションとサービスは、主要なモデル、AI ソフトウェア、データ、アプリケーション、自動化、セキュリティ、可観測性、運用を、フルスタック AI アーキテクチャーとして統合します。

「Dell AI Ecosystem Program」による新規および更新済みの検証済みソリューションは、統合リスクを低減し、AI の本番運用化を加速するとともに、企業の重要ニーズを幅広くカバーします。更新されたソリューションには、F5 と JFrog との **AI セキュリティ**、DataRobot との **Agentic AI Platform**、Dynatrace との **AI ワークロード向けのフルスタック オブザーバビリティ（Full-stack Observability for AI Workloads）**、Ipsotek との**コンピュータ ビジョンおよび AI 映像解析（Computer Vision and AI Video Analytics）**、Iternal Technologies および Teradata との **Data for AI**、Aible、Atolio、Maven AGI との**ナレッジ アシスタント（Knowledge Assistant）**、OpenAI との**コード アシスタント（Code Assistant）**、そして ClearML の Klique および JFrog との **AI ガバナンスおよびオーケストレーション（AI Governance and Orchestration）**が含まれます。

この包括的なエコシステムにより、お客様は完全な AI スタックを構築できます。このスタックは、一貫した基準をベースに「Dell AI Factory」のリファレンス アーキテクチャー上でテストされたものです。

さらに、検証済みソリューションは、新たに検証されたモジュラー アーキテクチャーと組み合わせることができます。このアーキテクチャーには、「Dell PowerStore」、NVIDIA HGX B300 GPU を搭載した「Dell PowerEdge XE9785」、および デル・テクノロジーズがサポートする NVIDIA AI Enterprise が含まれます。これにより企業は、自社データを用いたモデル学習・ファインチューニング、ワークロードの簡易展開、そして AI ワークフォースの拡大に応じたエージェント推論と学習のスケーリングを実現できます。

「Dell サービス」は、企業が AI の価値をより迅速かつ低リスクで引き出すうえで極めて重要です。今回の刷新では、実証済みの専門知識を体系化された提供モデルに集約し、本番対応 AI に必要なあらゆる要件に対応します。これにより、大規模 AI ワークロードの厳格な要件を満たす、適切に設計された環境を実現します。

- **「Dell AI Factory Engineers」**：本番対応 AI の成果を加速する、エンジニアリング主導の提供モデルです。AI プラットフォーム、ワークロード、データ、ガバナンス、セキュリティ要件に並行して対応する単一の責任チームを提供し、継続的なナレッジ移転によって、お客様のチームが時間をかけてソリューションを運用・拡張・改善できるようにします。
- **「Dell Services for AI Data Centers」**：AI 対応施設を設計し、電力、冷却、スペースを、AI ワークロードの厳しい要件に適合させることで、組織は拡張性の高いエンタープライズ AI ソリューションに自信を持って投資できます。

コメント:

デル・テクノロジーズ　インフラストラクチャー ソリューションズ グループ（ISG）担当プレジデント　アーサー ルイス（Arthur Lewis）は、次のようにコメントしています。「AI の成果は、モデルだけで実現されるものではありません。適切なコンテキストを備えたデータ、拡張性のあるインフラストラクチャー、そして相互に連携して機能することが検証されたソリューションが必要です。『Dell AI Factory with NVIDIA』は、そのようなフルスタックの基盤を提供します。お客様自身が所有し、管理できるこの基盤は、すでに 6,500 社のお客様によってその有効性が実証されています」。

NVIDIA　エンタープライズソフトウェア担当 バイスプレジデント Justin Boitano 氏は、次のようにコメントしています。「科学研究は今、これまでにない速度でデータを発見へと変換するために、研究者と協働する AI エージェントによって加速される新たな時代に突入しています。NVIDIA とデル・テクノロジーズは、アクセラレーテッド コンピューティングとオープンモデルを AI Factory にもたらすことで、あらゆる研究機関や研究室がイノベーションと発見を生み出すエンジンとなることを支援しています」。

IDC グループ　バイスプレジデント 兼 ジェネラルマネージャー グローバルドメインリード エンタープライズインフラストラクチャーの Ashish Nadkarni 氏は、次のようにコメントしています。「組織が実験段階から先に進むにつれ、成功の鍵はますます、次の要素を組み合わせて再現可能な AI 導入モデルを確立できるかどうかにかかっています。それは、信頼できるデータ、拡張可能なインフラ、運用のシンプルさ、エコシステムとの統合です。複雑さを軽減し、価値創出までの時間を短縮する支援ができるデル・テクノロジーズのようなベンダーは、エンタープライズ AI 導入を支えるうえで有利な立場にあるでしょう」。

提供開始時期

- 「Dell AI Data Platform」の機能強化は、2026 年 12 月に提供開始予定です。
- 「Dell Exascale」プラットフォームは、2027 年上半期に提供開始予定です。
- 「Dell OpenManage Rack Scale」は、すでに利用可能です。

- 「Dell Fabric Manager」は、すでに利用可能です。
- 「Enterprise SONiC Distribution by Dell Technologies」は、2027 年 1 月に提供開始予定です。
- F5 AI Runtime Security blueprint は、2027 年第 1 四半期に提供開始予定です。
- DataRobot との Agentic AI Platform blueprint は、すでに利用可能です。
- Dynatrace との Full-stack Observability for AI Workloads ホワイトペーパーは、すでに利用可能です。
- Ipsotek VISuite との Computer Vision blueprint は、2026 年第 4 四半期に提供開始予定です。
- Teradata AI Studio との Data for AI blueprint は、2027 年第 1 四半期に提供開始予定です。
- Iternal Technologies との Data for AI blueprint は、2027 年第 1 四半期に提供開始予定です。
- Aible との Knowledge Assistant blueprint は、すでに利用可能です。
- Atolio との Knowledge Assistant blueprint は、2027 年第 1 四半期に提供開始予定です。
- Maven AGI との Knowledge Assistant blueprint は、2027 年第 1 四半期に提供開始予定です。
- OpenAI との Code Assistant Codex reference architecture は、すでに利用可能です。
- ClearML の Klique との AI Governance and Orchestration blueprint は、すでに利用可能です。
- JFrog との AI security blueprint および AI Governance and Orchestration blueprint は、すでに利用可能です。
- 「Dell AI Factory with NVIDIA modular architecture」向けに検証済みの、NVIDIA HGX B300 GPU 搭載「Dell PowerEdge XE9785」サーバーは、すでに利用可能です。
- 「Dell AI Factory with NVIDIA modular architecture」向けに検証済みの「Dell PowerStore」は、2026 年第 4 四半期に提供開始予定です。
- 「Dell AI Factory with NVIDIA」向け「Dell Supported NVIDIA AI Enterprise」は、すでに利用可能です。
- 「Dell AI Factory Engineers」は、すでに利用可能です。
- 「Dell Services for AI Data Centers」は、2026 年第 4 四半期に提供開始予定です。

###

*1.「Dell AI Factory with NVIDIA」に関連する発表、リリース、およびアップデートを対象としたデル・テクノロジーズによる分析に基づく（2026 年 10 月）。

*2. 顧客注文データを対象としたデル・テクノロジーズによる分析に基づく（2026 年 8 月）。

*3. デル・テクノロジーズによる社内テストに基づく（2026 年 9 月）。料金所の運用に関する合成コーパス、および AIDP Tokenomics ベンチマーク調査で説明されているベンチマーク構成（20 の質問、6 つのワークロードタイプ、NVIDIA NIM 経由の NVIDIA Nemotron-3-Super-120B-A12B）を使

用しました。トークン数は LLM API の使用量フィールドから取得したものです。実際の結果は、ワークロード、データ特性、モデルの選択、およびシステム構成によって異なります。

*4. NVIDIA cuVS を搭載した Elasticsearch に関する Elastic 社の公開ベンチマークに基づく（2025 年 12 月）。テストでは、ローカル接続された NVMe ストレージを備えた単一の AWS g6.4xlarge インスタンス、1,536 次元の 260 万ベクトル、および最大 95%の再現率（リコールレベル）を使用しました。同じハードウェア上での GPU アクセラレーションによるベクトルインデックス作成と CPU のみのインデックス作成を比較しています。実際の結果は異なる場合があります。

*5. ストレージ ソフトウェアとともに提供され、商用提供が発表されているエンタープライズ ストレージシステムを比較した、デル・テクノロジーズの分析に基づく（2026 年 11 月）。「直接液冷（Direct-liquid-cooled）」とは、発熱するすべての部品をファンレスのコールドプレートで液冷する方式を指します。「ラックスケール AI 向け（For rack-scale AI）」とは、アクセラレータのフルラックを単一システムとして稼働させる AI システムと同じ液冷ラック設計および冷却液供給を使用するように構築されていることを意味します。2027 年初頭に提供開始予定の液冷 2OU オプションに適用されます。このプラットフォームは、個別のファイル、オブジェクト、ブロック、および並列ファイルのストレージ パーソナリティを、共通の再利用可能なハードウェア アーキテクチャー上に統合します。ブロックは 2027 年上半期に提供開始予定です。

*6. 最大 20 台のドライブを搭載した 1U フォームファクターに基づき、ノードあたり合計 24 台のドライブを搭載した前世代の 2U 認定共通ハードウェアと比較しています。2027 暦年初頭に提供開始予定（2026 年 11 月）。

*7.デル・テクノロジーズ社内スケーラビリティ テストに基づく（2026 年 10 月）。「Dell OpenManage Enterprise 4.8」の最大管理デバイス数 8,000 台と比較しています。

*8. BE Networks 社内のラボ分析に基づく。デバイスごとの手動 CLI コマンドを使用した場合と、Dell Fabric Manager の自動化機能を使用した場合とで、4 スパイン／8 リーフ構成の VXLAN ファブリックの設計および展開にかかる時間を比較。実際の結果は異なる場合があります。

*9. BE Networks 社内のラボテストに基づく。構成変更、イベントのトラブルシューティング／修復、ソフトウェアのバージョンアップなど、Day-2（運用フェーズ）における一般的な複数のタスクです。この分析では、従来の手動手順によるタスク所要時間と、「Dell Fabric Manager」のオブザーバビリティ ダッシュボードおよび自動化機能を使用して同じタスクを実行した場合の所要時間を比較しています。実際の結果は異なる場合があります。

###

■デル・テクノロジーズについて

デル・テクノロジーズは、企業や人々がデジタルの未来を築き、仕事や生活、エンターテイメントのあり方を変革することを支援します。AI 時代に向けて、業界で最も包括的かつ革新的なテクノロジーとサービスのポートフォリオをお客様に提供しています。

###

© Copyright 2026 Dell Inc.、その関連会社。All Rights Reserved.
Dell Technologies が提供する製品及びサービスにかかる商標は、米国 Dell Inc. 又はその関連会社の商標又は登録商標です。その他の製品の登録商標および商標は、それぞれの会社に帰属します。